



美容医療

老け顔・老け表情を治す 新たな技術が世界的なトレンド

美容医療の分野でも、加齢対策に視点を置いた新しい技術が生まれています。注目されている技術について、神戸大学医学部附属病院美容外科診療科長・一瀬晃洋さんに聞きました。

まず、「ボリニューメトリック・リストラেশヨン」は、加齢で生じた顔の変形を脂肪などの注入で元に戻す技術です。これまでシワ取りなど部分的に用いられていましたが、これは上下まぶた、ほお、あごなど広範囲の老け顔に対応。「特にこ

数年は、注入の技術が改良され、長持ちする脂肪注入が世界的なトレンドとなっています」

さらに老け表情を消す「ボトックスフェイシャル」も。眉間のシワによく使われるボツリヌス毒素の注射を顔全体に用いて、表情を若返らせるというもの。

「従来、難しいとされてきた微妙な表情筋のコントロールですが、ボトックスピスタの登場で可能になってきました。ボツリヌス毒素は、もともと人体に有害なものです

が、この製剤は、コストをかけて製品管理を行い、厚生労働省の承認を受けているものです」

このほか「ブラクセルレーザー」などの治療機器も進化しています。これは無数の極小の点でレーザー照射をすることで、老化した肌の質感を改善させる新技術です。ただ美容医療のトラブルは皆無ではありません。信頼できる医師に相談し、施術内容をよく理解することが大切です」と教えてくれました。



【教えてくれた人】

一瀬晃洋さん *Akihiro Ichinose*

1993年神戸大学医学部卒業、2008年から同大医学部附属病院美容外科診療科長・准教授。10月23日(日)に、同院神緑会館で美容医療市民講座(無料)開催